

日本気象学会 1995 年度秋季大会

大阪管区気象研究会

1. 会期：1995年10月16日(月)，17日(火)，18日(水)

2. 会場：ホテル・アウィーナ大阪

〒543 大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12

電話 06-772-1441(代表)

Fax. 06-772-1095

会場までの交通手段

(下記1～3のいずれか)

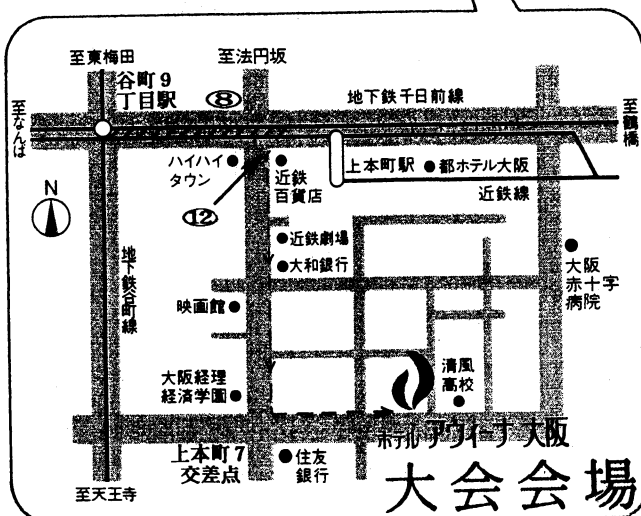
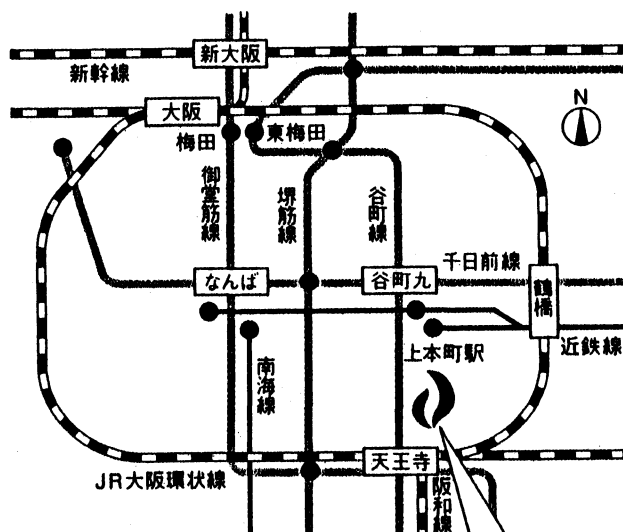
1. 地下鉄谷町線または千日前線で谷町9丁目駅下車，以下の道順で徒歩8分：

地下通路(右下図 )を通り，⑦⑧出口の案内を目印にして，地下通路突き当たり右側の⑫出口まで300m．⑫出口階段を上り，通りを200m行き，上本町7交差点を左折．

2. 近鉄上本町駅下車，徒歩3分．

3. 市バス上本町6丁目下車，徒歩5分．

(注) 新大阪駅から地下鉄(要途中乗換)で谷町9丁目まで約40分，大阪駅からは約30分．



大会行事予定

A会場：4階 金剛 (401, 402, 403) ポスター会場：3階 ロビー
 B会場：3階 葛城 (303, 304)
 C会場：3階 信貴 (302) シンポジウム：A会場
 D会場：3階 生駒 (301) 懇親会：B会場

() は講演数 (第1種-第2種と講演番号), - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月16日 (月)	09:30～ 11:45	放射 (9-1, A101～A110) -久慈 誠-	気候システム (14-1, B101～B115) -佐々木秀孝-	地域気象 (12-2, C101～C114) -菅野洋光-	オゾン (9-2, D101～D111) -川平浩二-
	13:00～ 15:30	メソ降水系Ⅰ (11-3, A151～A164) -岩崎博之-	気候システム (12-2, B151～B164) -加藤内蔵進-	気象力学 (13-1, C151～C164) -石渡正樹-	微量成分 (11-3, D151～D164) -小池 真-
	15:45～ 17:00	ポスター・セッション (B会場で概要紹介後, 講演) (P101～P118)			
10月17日 (火)	09:00～ 11:45	大気地表面相互作用 (11-3, A201～A214) -増田耕一-	メソ降水系Ⅰ (10-0, B201～B210) -吉崎正意- シビアストーム (7-1, B211～B218) -吉崎正意-	気象力学 (2-5, C201～C207) -牛丸真司- 中層大気 (8-1, C208～C216) -牛丸真司-	測器・観測手法 (17-1, D201～D218) -小林隆久-
	13:00～ 14:50	山本正野論文賞・堀内基金奨励賞授与, 奨励金贈呈 山本正野論文賞・堀内基金奨励賞記念講演			
	15:00～ 18:00	シンポジウム 大気レーダーが開く新しい気象 世話人: 深尾昌一郎・山中大 話題提供: 深尾昌一郎・中村健治・八木正允・岩崎俊樹			
	18:30～ 20:30	懇親会			
10月18日 (水)	09:00～ 11:00	メソ降水系Ⅱ (11-2, A301～A313) -真木雅之-	大気大循環 (10-2, B301～B312) -岩崎俊樹-	熱帯気象 (8-3, C301～C311) -山中大-	大気境界層 (12-0, D301～D312) -千葉 修-
	11:15～ 12:30	ポスター・セッション (B会場で概要紹介後, 講演) (P301～P318)			
	13:30～ 16:30	メソ降水系Ⅱ (3-0, A351～A353) -折笠成宏- 雲物理 (13-2, A354～A368) -折笠成宏-	台風 (8-1, B351～B359) -釜堀弘隆- 気象教育 (4-1, B360～B364) -釜堀弘隆-	エアロゾル・物質輸送 (18-1, C351～C369) -林 政彦- -永井智広-	大気境界層 (12-1, D351～D363) -小林文明- 環境気象 (5-0, D364～D368) -吉川友章-

発表件数: 325件 (第1種講演250, 第2種講演39, ポスター36)

講演・質疑時間: 第1種講演は5分と2分, 第2種講演は10分と5分.

大会参加費: 郵便振替による前納の場合 一般会員 2,000円, 学生会員 1,000円;

当日受付の場合は 一般会員 2,500円, 学生会員 1,500円, 非会員 2,500円.

懇親会費: 郵便振替による前納の場合 一般会員・学生会員 5,000円;

当日払いの場合は 一般会員 6,000円, 学生会員 5,000円.

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いします.

なお郵便振替用紙は「天気」6月号の末尾に挿入されたものを使い, 10月3日までに振り込んで下さい.

シンポジウム 「大気レーダーが開く新しい気象」

1. 日時 大会第2日(10月17日) 15:00~18:00
2. 会場 A会場
3. 世話人 深尾昌一郎・山中大学(京大・超高層)
4. プログラム
 - (1) 深尾昌一郎(京大・超高層): VHF/UHF帯大気レーダーの現状と技術的展望
 - (2) 中村健治(名大・大気水圏研): 気象観測における大気レーダーの位置づけ
 - (3) 八木正允(気象庁・産業気象): 気象庁におけるウインドプロファイラデータの導入
 - (4) 岩崎俊樹(気象庁・数値予報): 大気レーダーの数値予報への利用
5. 総合討論 司会: 山中大学

シンポジウムの趣旨については「天気」8月号をごらん下さい。

気象集誌の印刷等をELSEVIER社に委託する件についての懇談会

日時 大会第1日(10月16日) 17:10~18:50
 会場 D会場
 呼びかけ 気象集誌編集委員会

気象集誌編集委員会では、これまで、標記の件について種々検討を行ってまいりましたが、会員の皆様にこれまでの経過説明を行ったり、直接ご意見をお聞きする機会を設けることにしました。興味のある方は、多数ご出席ください。

研究会のお知らせ

大会に合わせて下記の研究会が行われます。興味のある方はご自由にご参加下さい。

1. 極域研究連絡会 シンポジウム「北極域の雪氷と大気」

日時 10月19日(木) 09:00~13:00
 会場 大阪合同庁舎第4号館(大阪管区気象台のあるビル) 4階 講堂
 世話人 山崎孝治(北大・地球環境), 和田 誠(極地研), 小西啓之(大阪教育大)
 詳細は大会会場に掲示。
2. メソ気象研究会

日時 10月19日(木) 09:00~15:00
 会場 大阪合同庁舎第4号館 16階 大阪管区気象台大会議室
 テーマ 「台風および梅雨季低気圧のメソ構造」
 コンビナー 山中大学(京大・超高層)
 詳細は「天気」9月号に掲載。
3. オゾン研究連絡会

日時 10月16日(月) 17:30~19:30
 会場 大会会場の予定(当日掲示)
 内容 (1) 話題提供 「電波天文学とオゾン層研究」(前名大教授 河鱈公昭先生)
 (2) 連絡事項
 (3) その他
 連絡先 川平浩二(富山高専)

春季大会の予告

1996年度春季大会は、5月21日(火)~23日(木)にソニックシティ(埼玉・大宮駅前)で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載します。講演申込締切は3月上旬を予定しています。

講演企画委員会では、スペシャル・セッションの企画を募集しています(11月15日締切; 詳細は「天気」8月号参照)。

大会第1日〔10月16日〕 09:30~11:45

() は第2種講演を, ~ は講演者を表す。[S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定

A会場

放射

座長:久慈 誠(奈良女子大)

- A101 深堀正志・青木忠生(気研・物理)他3名:2.0, 2.1及び2.3 μ m N₂O吸収帯の吸収線パラメータの測定
- A102 山本 哲(気研・応用):気候モデル放射コード比較実験結果による気象庁数値予報モデル放射コードの評価
- A103 井上万姫子(神戸商船大), 増田一彦(気研・衛星)他4名:四国沖及び瀬戸内海でのエアロゾルの放射観測
- A104 柴田清孝(気研・気候):成層圏バックグラウンドエアロゾルの濃度変化が及ぼす放射効果について
- A105 久慈 誠(奈良女子大), 中島映至(東大・気候システム):航空機観測データによる海洋性層積雲の幾何学的厚さの推定
- A106 早坂忠裕・桑原記代(東北大・理)他2名:NOAA/AVHRR赤外データを用いた熱帯の巻雲物理量の解析
- A107 浅野正二(気研・気候)ほか:JACCS氷晶雲地上観測:I.短波・長波放射ゾンデ開発
- A108 真野裕三・塩原匡貴(気研・気候)他1名:層状雲の水平不均質性が短波放射吸収に及ぼす影響
- A109 内山明博(気研・気候), 深堀正志(気研・物理)他2名:雲放射スペクトル測定装置の開発(2)
- A110 青木輝夫・青木忠生(気研・物理)他2名:積雪の波長別アルベドに対する大気の効果

B会場

気候システム

座長:佐々木秀孝(気研・応用)

- B101 坪田幸政(慶應高):太陽活動が地球大気に与える影響のGISS/GCMによる研究—海面温度の影響を中心として—
- B102 尾瀬智昭(気研・気候):熱帯海面水温に対する大気のアンサンブル応答実験
- B103 吉村 純(気研・気候), 北村佳照(気研・海洋)他3名:気象研究所大気海洋結合モデルによるエルニーニョ予測実験
- B104 杉 正人(防災科研), 佐藤信夫(気象庁・数値予報):T106気象庁全球モデルの10年ランでシミュレートされた熱帯低気圧の気候特性
- B105 行本誠史・本井達夫(気研・気候)他2名:太平洋における気候変動度のCO₂漸増に伴う変化(1)
- B106 中川慎治・野田 彰(気研・気候)他5名:二酸化炭素濃度増加に伴う気温日較差の変化
- B107 沈 学順・木本昌秀(東大・気候システム):CCSR/NIES AGCMに現れたインドモンスーンの強弱とその前兆
- B108 中澤哲夫(気研・台風):TOGA-TAOバイデータに見る大気-海洋相互作用
- B109 植田宏昭・安成哲三(筑波大・地球科学):西太平洋上の夏季モンスーンの成熟過程—大気・海洋相互作用—
- B110 鈴木英一・高橋正明(東大・気候システム):アジア領域における梅雨季の渦度解析
- B111 加藤内蔵進(名大・大気水圏研), 松山 洋(都立大・理)他1名:1991年梅雨期の中国淮河流域における水蒸気収支解析
- B112 岡谷隆基(東大・地理):東アジア地域における梅雨季降水の経年変化とその量的特性
- B113 Sanga-Ngoie Kazadi, 福山 薫(三重大):アフリカザイール川流域における過去30年間の気候変動 4. 永年変化と地理的分布
- B114 見延庄士郎(北大・理):北太平洋・北米における50~60年周期変動
- B115 T. Nitta, Z. Hu(東大・気候システム):SUMMER CLIMATE VARIABILITY IN EAST ASIA AND ITS ASSOCIATION WITH GENERAL CIRCULATION AND SST

大会第1日〔10月16日〕 09:30~11:45

(〃 は第2種講演を, 〃 は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

地域気象

座長:菅野洋光(東北農試)

- C101 平沢尚彦・山内 恭(極地研):南極域のOLR分布の季節内変動と大陸内陸域の雲量変動
- C102 萩野谷成徳(気研・物理):チベットにおける自動気象観測(4)チベット高原上の風の特徴
- C103 佐橋 謙(岡山大・教育):HEIFEで夏期に見られた湿潤期について
- C104 板野稔久・光田 寧(京大・防災研):中国北西部・乾燥地域における傾圧性擾乱に伴う降雨
- C105 蒲生 稔・前田高尚(資源環境研)他1名:四川盆地の湿潤混合層
- C106 原園芳信(農環技研), 李 勝功(蘭州沙漠研)他2名:半乾燥地域草原の降雨後の蒸発散の過渡的特徴
- C107 菅野洋光(東北農試)重回帰式を用いたヤマセメッシュ気象データの作成
- C108 高井博司・川村 宏(東北大・理)他1名:1993年の冷夏をもたらしたヤマセ気流の源について
- C109 桑形恒男(東北農試):東北地方の地形がヤマセの構造に及ぼす効果 — 1993年ヤマセの事例解析 —
- C110 岩井邦中(信州大・教育), 阿部豊雄(高層気象台):昭和基地で観測された風と気圧の短周期変動 — 事例研究 —
- C111 池田和則・渡辺 明(福島大・教育):境界層レーダーによる山岳波の観測
- C112 堀口光章・光田 寧(京大・防災研)他2名:山岳地(敦賀試験線)における風の観測(2) — 風の分布と乱流特性 —
- C113 門田通俊・高橋幸二(松山地台):「やまじ」について(1993.6.2)[S]
- C114 青沼和彦・赤津邦夫(気象協会)他2名:GPVを用いた半物理モデルによる冬季の最低気温予測の試み

D会場

オゾン

座長:川平浩二(富山高専)

- D101 小竹知紀・福西 浩(東北大・理)他2名:トラジェクトリー上での光化学モデルの開発
- D102 秋吉英治(国立環境研):1次元放射-光化学結合系の二酸化炭素倍増に対する応答
- D103 滝川雅之・高橋正明(東大・気候システム)他2名:CCSR/NIES 気候-化学モデル(序)
- D104 川合純子(数理技研), 吉川雅修(山梨大・工)他3名:3次元全球モデルと感度法による対流圏オゾン濃度の試算(その2)
- D105 渡辺幸一・永尾一平(名大・大気水圏研)他1名:海洋大気中における過酸化水素濃度の変動
- D106 箕浦宏明・美澤史帆(豊田中央研):地上付近のオゾン濃度観測(IV)
- D107 堤 之智・財前祐二(気研・物理)他1名:富士山頂における対流圏オゾンの特徴
- D108 河籾公昭・小川英夫(名大・理):成層圏・中間圏オゾンのミリ波分光観測
- D109 藤本敏文(気研・衛星), 内野 修(気象庁・オゾン層)他1名:つくば上空におけるオゾンライダーと他のオゾン測器との比較
- D110 川平浩二・白鳥和歌子(富山高専)他1名:南極オゾンホール of the 最近の変動の特徴
- D111 阪本麻友・福西 浩(東北大・理)他1名:最近の南極オゾンホール of the 発達とプラネタリー波との関係

大会第1日〔10月16日〕 13:00～15:30

(〃 は第2種講演を, 〃 は講演者を表す, [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

メソ降水系 I

座長: 岩崎博之 (群馬大・教育)

- A151 高橋暢宏・花土 弘 (通信総研): 航空機搭載マルチパラメータ降雨レーダによる降水雲の観測
- A152 金田幸恵・秋 驥 (名大・大気水圏研) 他5名: 地形効果による降雨の強化に関するドップラーレーダ観測
- A153 荒生公雄 (長崎大・教育), 中根重勝 (長崎大・水産) 他2名: 長崎半島周辺の地形性降雨に関する考察
- A154 加藤輝之 (気研・予報): 1993年8月1日鹿児島地方で発生したライン状豪雨の発生過程とメカニズムについて
- A155 坪木和久・浅井富雄 (東大・海洋研): 対流圏中層で梅雨前線帯に侵入する乾燥空気の豪雨形成における役割
- A156 青梨和正 (気研・予報), 隈 健一 (気象庁・数値予報) 他1名: Arakawa-Schubert型スキームと大規模凝結スキームを持つNWPモデルへの降水情報の導入について
- A157 吉崎正憲・瀬古 弘 (気研・予報) 他4名ほか: 「つくば域降雨観測実験」による関東地方における1995年7月の観測の概要
- A158 木村富士男 (筑波大・地球科学), 谷川亮一 (筑波大・自然) 他1名: 関東北部の山岳地における晴天日の可降水量の日変化
- A159 奥山和彦・清水嘉夫 (気象協会) 他1名: SAFIRによる関東地方の雷観測
- A160 渡辺 明・池田和則 (福島大・教育): 境界層レーダーによる降水系内の重力波の観測
- A161 柴垣佳明 (大阪電通大), 山中大学 (京大・超高層) 他2名: MUレーダー観測による1994年梅雨季の中小規模擾乱: 前線構造の時間的発達過程(2)
- A162 土本順久・柴垣佳明 (大阪電通大) 他4名: MUレーダー・境界層レーダー同時観測による低気圧・前線に伴う対流圏最下部の風速変動(II)
- A163 高野 功・高山 大 (気研・予報) 他1名ほか: 急速に発達した南岸低気圧の数値シミュレーション(2) — つくば域降雨観測実験'94年2月12日の事例 —
- A164 豊田英司・新野 宏 (東大・海洋研) 他2名: 寒冷前線付近の上層に発生した時計回りの渦列

B会場

気候システム (つづき)

座長: 加藤内蔵進 (名大・大気水圏研)

- B151 森山 茂・高原光子 (日大・生産工) 他1名: 閉鎖生態系を用いた地球環境の生成に関する研究(その5)
- B152 福山 薫 (三重大), 柏谷健二 (金沢大) 他1名: 琵琶湖底堆積物に見られる突発的気候変動
- B153 水越允治 (三重大): 文書記録による気候復元の可能性と問題点
- B154 米谷恒春 (防災科研): 気候モデルにおける季節平均気温の十年規模変動
- B155 佐々木秀孝 (気研・応用): SSTが局地気候モデルの降水に与える影響について
- B156 山元龍三郎 (気象協会・関西): 極値現象の変化傾向検出法に関するモンテカルロ法の適用
- B157 山元龍三郎・山路昭彦 (気象協会・関西) 他2名: 強風の長期変化傾向について (序報)
- B158 西岡佐喜子 (奈良地台): 近畿地方の気象要素の持続性について
- B159 馬場賢治 (気象海洋コンサリント): 黒潮流路による東海地方の気候差異について
- B160 本田明治 (北大・低温研), 立花義裕 (東海大) 他1名: オホーツク海の海水による気圧場への影響と大気の冷却過程について
- B161 立花義裕・長 幸平 (東海大) 他1名: 1989年を境にしたオホーツク海南部の海水量の激減
- B162 岡田 格 (総研大), 山内 恭 (極地研): 1986-1988年のECMWFおよびERBEデータから得られた南大洋における地表面熱フラックスの季節変化について
- B163 榎本浩之 (北見工大), 本山秀明 (極地研) 他6名: 南極大陸ドームふじの昇温現象とその空間分布 — 1994年のAWS及び衛星マイクロ波観測から —
- B164 浮田甚郎 (東大・理): 海水力学モデルにおける内部応力の役割

大会第1日〔10月16日〕 13:00~15:30

(〃 は第2種講演を, 〃 は講演者を表す, [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

気象力学

座長:石渡正樹(北大・地球環境)

- C151 田島俊彦・中村敏郎(富山高専)他1名:定常傾圧波におけるラグランジュ運動の実験的観測(その2)
- C152 酒井 敏(京大・総合人間):回転対流の水平スケール[V]
- C153 高木征弘・松田佳久(東北大・理):夜昼間対流の安定性
- C154 石渡正樹(北大・地球環境), 中島健介(九大・理)他1名:暴走温室状態における熱収支
- C155 佐藤正樹(埼玉工大):2次元モデルにおける湿潤対流運動について
- C156 小林 護(東大・理):順圧渦の移動と構造について
- C157 直江寛明(気研・物理), 松田佳久(東大・理):東西非一様な基本場におけるロスビー波の非線型的伝播(1)
- C158 李 彰俊・岩山隆寛(九大・理)他2名:定常プラネタリー波の鉛直伝播:渦拡散による伝播特性の変化
- C159 趙 南・高橋正明(東大・気候システム):加熱の季節変化に対する熱帯ケルビン波の高(低)調波応答
- C160 本田有機・山岬正紀(東大・理):傾圧不安定波の長時間積分
- C161 野田 彰(気研・気候), 遠藤昌宏(気研・海洋)他1名:平均子午面循環におけるフェレル・セルとディーコン・セル
- C162 小林博和(電力中研), 箕 雅行(富士総研):CIP法の大気大循環モデルへの適用性(ラグランジュ法の力学過程計算への適用)
- C163 金久博忠(気研・予報):三次元の山の麓のおろし風
- C164 永田 雅(気象庁・数値予報):気象庁新台風予報モデル

D会場

微量成分

座長:小池 真(名大・STE研)

- D151 小池 真・近藤 豊(名大・STE研)他2名:PEM-West(B)西太平洋域航空機観測で得られたNO_xとO₃およびCOの相関
- D152 杉田孝史・近藤 豊(名大・STE研)他5名:SESAMEにおける北極成層圏でのNO_x, O₃, N₂Oの同時気球観測
- D153 桑原徹也・田中 浩(名大・大気水圏研)他2名:FT-IRを用いた大気微量気体の測定
- D154 牧野行雄・佐々木 徹(気研・物理)他1名:北半球高緯度オゾン層HCl及びHF全量観測
- D155 劉 小虎・大滝英治(岡山大)他1名:海水中の二酸化炭素濃度(pCO₂)測定器の開発
- D156 中谷省吾・大前宏之(岡山大)他1名:淡水中の炭酸物質について
- D157 大前宏之・中谷省吾(岡山大)他1名:備讃瀬戸海水中での二酸化炭素濃度(pCO₂)の観測
- D158 伊藤はる奈(岡山理大), 劉 小虎(岡山大)他3名:二酸化炭素の大気-海洋間の交換
- D159 山本 晋・村山昌平(資源環境研)他1名:温帯落葉樹林と大気間のCO₂フラックス季節変化の観測(その2)
- D160 三枝信子(筑波大・生物), 劉 厦(筑波大・環境)他3名:気象条件の年々変動に対する草原生態系の応答のモデル解析
- D161 林 正康・浦生 稔(資源環境研)他2名:タイの熱帯季節林における二酸化炭素等の収支の観測研究その2
- D162 内田洋平(気象協会・関西), 鯉谷 憲(大阪府大・農)他2名:水田上における二酸化炭素とメタンの乱流輸送
- D163 菅原 敏・中澤高清(東北大・理)他5名:航空機を用いたシベリア上空における大気中のメタン炭素同位体比の観測
- D164 中澤高清・菅原 敏(東北大・理)他6名:大気球を用いた成層圏大気中のメタン炭素同位体比の観測

ポスター・セッションの講演題目はプログラム末尾にあります。

(は第2種講演を, は講演者を表す, [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

大気地表面相互作用

座長: 増田耕一(都立大・理)

- A201 近藤純正・本谷 研(東北大・理)他1名: 新バケツモデルによる流域水収支と河川水温の研究
- A202 江守正多(東大・教養), 沼口 敦(国立環境研)他1名: 広域の流出特性が土壌水分の自然変動に及ぼす影響
- A203 八久保晶弘・秋田谷英次(北大・低温研): 積雪表面霜形成の風速依存性 — 野外観測・数値実験による検証 —
- A204 近藤純正・徐 健育(東北大・理)中国の乾燥・半乾燥域の地表面熱収支(1)気候条件と土壌パラメータ
- A205 永井秀幸(九大・農), 佐橋 謙(岡山大・教育)他1名: 沙漠が乾燥空気を作り出す機構(観測結果)
- A206 小林哲夫(九大・農): 沙漠が乾燥空気を作り出す機構(モデル)
- A207 篠田雅人・岩下広和(都立大・理): 乾燥地域の気候変動と地表面状態[S]
- A208 渡辺 力・山野井克己(森林総研)他4名: バンドパス・渦相関法による森林上のスカラーフラックスの観測
- A209 塚本 修(岡山大・理): Band-Pass Covariance法による水蒸気フラックスの評価
- A210 三上正男(気研・応用), 安田延壽(東北大・理): 森林丘陵上の顕熱・潜熱のバルクパラメタリゼーション
- A211 S.H.Lee, H.W.Lee(Pusan Natl.Univ.)他2名: The Sensitive Analysis for Effects of Vegetation in Atmosphere and Surface Interaction
- A212 馬淵和雄(気研・気候), 佐藤康雄(気研・応用)他3名: 植生によるCO₂の吸収・放出過程を導入した陸地表面モデル(Ⅲ)
- A213 高藪 出(気研・応用): SSiBモデルにおける植生パラメータの影響
- A214 岩崎俊樹・益子直文(気象庁・数値予報)他1名: アジアモンスーンの1ヶ月予報実験Ⅰ. 雲量および気孔抵抗に対する感応度

B会場

メソ降水系Ⅰ(つづき)

座長: 吉崎正憲(気研・予報)

- B201 横尾守昭(気象庁・予報): メソスケール現象の分類の試み
- B202 Y.K.Kim, J.H.Hong(Pusan Natl.Univ.)他2名: The Application of Spectral method for Meso-Scale Phenomena
- B203 野口寛孝(気研・予報): 短時間強雨と関連する総観場の分類
- B204 藤田由紀夫(気象衛星センター): Cbの発生と水蒸気画像
- B205 岸本賢司(気象衛星センター): 水蒸気画像上の渦パターンと対流雲の発達
- B206 井上 誠・山口善正(岡山地台)他1名: 1994年7月7日の岡山市の大雨について(事例解析)
- B207 白築清市・森岡伸夫(京都地台): 前線南下時のメソ天気系概念モデルの構築
- B208 堀口善一(舞鶴海洋): 京都府北部における気圧パターンとしぐれ分布の特性
- B209 橋本宏晃(神戸海洋): 兵庫県西部で寒冷前線が南下するとき前面に発生するメソじょう乱について
- B210 上清直隆・牧原康隆(気研・予報): レーダー・アメダス解析雨量におけるレーダー観測高度と雨量の出現頻度との関係

シビアストーム

座長: 吉崎正憲(気研・予報)

- B211 楠 研一・鈴木 修(気研・衛星)他1名: Dual PRFデータを用いたドップラー速度折り返し補正のための「複合アルゴリズム」
- B212 村田行泰・立平良三(電通大): 単一ドップラーレーダによるシアライン周辺の水平発散とエコー強度変化
- B213 K.Nakamura(東大・海洋研), R.Kershaw(Univ. Reading): Generation of near-surface gusts by deep convection
- B214 蕨澤 浩・大野久雄(気研・衛星): アメダスデータを用いたガストフロント監視支援システム
- B215 奥井義晴(奈良地台): 山陰沿岸の竜巻について
- B216 松村 哲・浜田浩一(高知地台)他1名: 局地収束線上に発生した土佐湾の竜巻 — 1994年10月4日17時過ぎから20分の間に次々と5個発生 — [S]
- B217 小林文明(防大・地球科学): 寒冷前線上に発生したマイクロバースト — 1995年1月4日千葉県富津市の突風災害 —
- B218 大野久雄・鈴木 修(気研・衛星)他1名: わが国におけるダウンバーストの発生の実態

大会第2日〔10月17日〕 09:00~11:45

() は第2種講演を, ~ は講演者を表す. [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

気象力学(つづき)

座長:牛丸真司(沼津高専)

- C201 大河内康正(八代高専):非一様温度場中のローレンツモデル
- C202 伊賀啓太(東大・海洋研):連続モードとの共鳴として理解するクリティカルレイアー不安定
- C203 小林澄人(京大・理), 酒井 敏(京大・総合人間):順圧不安定のnon-modal growthと波の運動量
- C204 岩山隆寛(九大・理), 岡本壽夫(高知大・理):2次元減衰性乱流のscaling理論の再考察
- C205 山森美穂・佐藤 薫(京大・理)他1名:上部対流圏中間規模波動の鉛直構造
- C206 佐藤 薫(京大・理), 松野太郎(北大・地球環境):中間規模波動の対流圏界面へのトラッピング
- C207 山之内淳史・山中学(京大・超高層)他2名:下部対流圏メソスケール擾乱に伴う乱流強度の変動

中層大気

座長:牛丸真司(沼津高専)

- C208 山本喜昭・津田敏隆(京大・超高層)他1名:水平風・温度変動のレーダー測定による運動量フラックスの推定法の検討
- C209 川端宏司・山中学(京大・超高層)他6名:MUレーダー・航空機協同観測による対流圏風速の時間・空間変化の相関
- C210 M.H.Hitchman, C.-Y. Yao(Univ. Wisconsin)他1名:Geographical Variation of the Annual Cycle in the Tropical Stratosphere
- C211 荻野慎也・山中学(京大・超高層)他3名:下部成層圏における重力波活動度の緯度分布—極地研「しらせ」オゾンゾンデデータの解析—
- C212 堤 雅基(極地研), 津田敏隆(京大・超高層)他2名:流星エコーを利用した中間圏界面領域の半日周期潮汐波の風速・温度変動同時観測
- C213 山腰裕一(関西航空地台), 宮尾みずほ(新潟地台)他2名:Pressure Dipのソリトンモデル(II)
- C214 牛丸真司・伊達宏昭(沼津高専):季節変動の重力波dragパラメタリゼーションに対する依存性I
- C215 高橋正明(東大・気候システム):CCSR/NIES-GCMに現れたQBO的な振動について
- C216 黒田友二・千葉 長(気研・気候):モデルに見いだされた5日波とその励起について

D会場

測器・観測手法

座長:小林隆久(気研・衛星)

- D201 園井康夫(関西電力), 前川泰之(大阪電通大)他3名:ゾンデ観測結果との比較による二重偏波レーダーの降水粒子識別機能の検討
- D202 小林隆久(気研・衛星), 林田英俊(竹中工務店)他2名:境界層レーダーによる降雨粒径分布の観測
- D203 橋口浩之・深尾昌一郎(京大・超高層)他3名:アクティブ・フェーズド・アレイ・アンテナを用いた境界層レーダーの開発
- D204 E.Hermawan, T.Tsuda(京大・超高層)他2名:MU Radar Observations of Tropopause Height By Using Characteristic of Clear Air Echo Intensity
- D205 M.A.Menshov, H.Uyeda(北大・理)他1名:Possible Approach to Objective 3-D Analysis of Radar Reflectivity Fields
- D206 森 征洋(香川大・教育), 林 泰一(京大・防災研)他2名:風車型風向風速計の自然風中における特性について
- D207 花房龍男(気研・応用), 加藤眞規子(気研・物理)他1名:各種風速計による風速値の比較(II)
- D208 花房龍男(気研・応用), 小玉 亮(気象協会)他6名:ドップラーソーダによる σ_w の観測値について
- D209 鈴木賢士・高橋 功(九大・理):雲粒子ビデオゾンデの試作
- D210 田中豊顕・葦澤 浩(気研・衛星)他2名:光散乱を利用した雨雪判別視程計(構造)
- D211 松浦和夫・田中豊顕(気研・衛星):光散乱を利用した雨雪判別視程計(実験結果)
- D212 越智文久(防大・地球科学), 高村民雄(千葉大・環境リモートセンシング):マイクロ波放射計による可降水量の推定—精度向上の為のシミュレーション—
- D213 高村民雄(千葉大・環境リモートセンシング), 山田武史(総合電子)他2名:マイクロ波放射計の誤差要因となる外来雑音について
- D214 塩原匡貴・浅野正二(気研・気候)他3名:走査型多波長日射計による巻雲及びエロゾルの天空光観測
- D215 高山陽三(気研・衛星):雲の可視短波長赤外域での衛星観測
- D216 今須良一・林 正康(資源環境研)他1名:気温・気体濃度反転解析時における雲の影響に関する研究
- D217 山中 元・田口 真(東北大・理)他1名:成層圏微量気体観測用気球搭載レーザーヘテロダイン分光計の開発
- D218 藤谷泰資(イオン情報研):兵庫県南部地震の前兆現象(II)—空中電位観測より—

(____は第2種講演を, ____は講演者を表す。[S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

メソ降水系Ⅱ

座長: 真木雅之(防災科研)

- A301 梶川正弘(秋田大・教育), 藤吉康志(名大・大気水圏研)他3名: 高層雲の変質過程の観測
- A302 栗原和夫・瀬古 弘(気研・予報)ほか: 氷粒子の融解の効果と前線面下の弱風域について(1994.5.11の例)
- A303 岩崎博之(群馬大・教育), 荒生公雄(長崎大・教育)他3名: 梅雨前線帯の中間規模擾乱に伴う層状雲域の鉛直構造に関する事例解析
- A304 真木雅之(防災科研), 岩波 越(防災科研・長岡)他5名: レーダによる降水パラメータの推定
- A305 武田喬男・坂本直美(名大・大気水圏研): マイクロ波放射計により測定された中層雲の雲水量の特徴
- A306 佐藤晋介・花土 弘(通信総研)他4名ほか: 「つくば域降雨観測実験」: 複数台のドップラーレーダによる層状性エコーの観測 — 93/10/8の事例 —
- A307 岩田総司・遊馬芳雄(北大・理)他5名: BASE期間中に観測されたカナダ北極圏の層状性極域擾乱の降水機構
- A308 島村泰介・遊馬芳雄(北大・理)他5名: BASE期間中に観測された, 渦状擾乱に伴う筋状エコーの内部構造
- A309 和田 誠(極地研), 青木周司(東北大・理)他2名: 北極スバルバルの冬季の降雪雲
- A310 中井専人(防災科研), 梶川正弘(秋田大・教育): 丘陵を越える降雪エコーと地上降雪粒子の種類との比較
- A311 長石唯人・菊地勝弘(北大・理)他3名: 札幌市周辺の異常降雪現象の出現特性
- A312 松月 昇(名大・大気水圏研): SSM/Iデータによる寒気吹き出し時の雲群の特徴の研究
- A313 勝俣昌己・上田 博(北大・理)他1名: SSM/IとX-バンドレーダーによる北海道西岸帯状雲の解析 — 1991年1月26日~28日の事例 —

B会場

大気大循環

座長: 岩崎俊樹(気象庁・数値予報)

- B301 中村 尚(東大・理), M. Nakamura(MIT): ブロッキング高気圧形成における長周期・短周期擾乱の役割
- B302 田中 博・木村和央(筑波大・地球科学): 順圧大気モデルを用いたブロッキングの数値実験 — ブロッキングのライフサイクルの研究 —
- B303 長谷川 聡・田中 博(筑波大・地球科学)他3名: NCAR/CCM2のスペクトルエネルギー解析(3)
- B304 小寺邦彦(気研・気候): 冬季北半球における成層圏循環の年々変動
- B305 河本 望(京大・理), 塩谷雅人(北大・地球環境): 成層圏突然昇温に伴う水蒸気分布の変化
- B306 小出 孝・千葉 長(気研・気候)他1名: MRIスペクトル大気大循環モデル(MRI-GSPM)における対流圏-成層圏の気候および変動性について
- B307 吉村裕正・小出 孝(気研・気候)他1名: MRIスペクトル大気大循環モデル(MRI-GSPM)で見られた, 北半球の成層圏突然昇温現象について
- B308 荻田誠治(国立環境研), 高橋正明(東大・気候システム): CCSR/NIES大気大循環モデルの成層圏の振舞について(序報)
- B309 三好勉信(九大・理): 放射過程を含む中層大気大循環モデルの開発
- B310 石橋欣治・三好勉信(九大・理)他1名: 物理過程を改良した中層大気大循環モデルによる数値実験
- B311 室井ちあし・隈 健一(気象庁・数値予報)他1名: 気象庁新全球予報モデルの概要
- B312 田宮久一(気象庁・数値予報): 等価深度の浅い鉛直モード 初期値化

大会第3日〔10月18日〕 09:00~11:00

(____は第2種講演を, ____は講演者を表す。[S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

熱帯気象

座長: 山中大学(京大・超高層)

- C301 高橋清利・村上勝人(気研・台風): 静止衛星データを用いた日変化に対する季節内変動の影響の解析 — その3 —
- C302 井上豊志郎(気研・台風): 極軌道衛星NOAAで観測された昼軌道と夜軌道での雲量のちがい
- C303 久保田尚之・新田 勲(東大・気候システム): 熱帯対流活動の日変化
- C304 足立樹泰・津田敏隆(京大・超高層)他2名: RASSによる赤道域境界層の温度観測(2)
- C305 Md. Nazrul Islam, H. Uyeda(北大・理)他1名: Characteristics of the Tropical Clouds and Cloud Clusters after Defining a Cloud Boundary over the Oceanic Warm Pool on November 3-12, 1992
- C306 丸山健人(気研・予報): インドネシア・マレーシア上空で1994年12月に見られた高度20km付近に停滞する強い安定層
- C307 Iruk Widiyatmi, H. Hashiguchi(京大・超高層)他5名: Quasi 4 Day Mode Observed by the Boundary Layer Radar at Serpong (6°S, 107°E), Indonesia: Part 3
- C308 和田浩治・新田 勲(東大・気候システム)他1名: 熱帯成層圏下部における短周期擾乱について
- C309 浜田純一・山中大学(京大・超高層)他5名: インドネシアにおける降水量の数日~数年スケールの変動とその地域特性
- C310 清水 厚・津田敏隆(京大・超高層)他1名: インドネシアにおいて観測された大気重力波のホドグラフ解析(2)
- C311 高藪 緑(国立環境研), K. M. Lau (NASA) 他1名: TOGA-COARE観測期間の準2日周期変動

D会場

大気境界層

座長: 千葉 修(高知大・理)

- D301 花房龍男(気研・応用), 高橋圭一(気象協会)他5名: 海上大気拡散評価手法の確立研究
- D302 森内 茂・小島啓美(原子力研)他5名: パーフルオロカーボンとSF₆との比較拡散実験
- D303 加藤眞規子(気研・物理), 堀 晃造(気象協会): LDVによる風速測定 — 風洞実験 —
- D304 米谷俊彦・宮下晃一(岡山大・資源生物研): 植物群落上の乱流特性について(33) — 穂波と群落表面温度 —
- D305 今村剛史・渡辺桂一郎(岡山理大)他1名: 接地境界層での乱流輸送(1)
- D306 渡辺桂一郎・今村剛史(岡山理大)他1名: 接地境界層での乱流輸送(2)
- D307 近藤 明・山口克人(大阪大・工)他1名: トランスキュータを用いた静水圧モデルの計算効率
- D308 余 偉明(名工大), 植田洋匡(九大・応力研): 強い成層流れにおける3次元物体まわりの数値実験(その2) 剝離現象について
- D309 水野建樹(資源環境研), 守屋 岳(気象協会)他3名: LESモデルと風洞地形模型実験の比較
- D310 中川清隆(上越教育大・自然): 都市地表面アルベドの表面形状依存性に関する数値実験
- D311 児玉裕二・古俣裕子(北大・低温研)他1名: 2高度における気圧差の季節変化について
- D312 新美和造(根室測), 石川信敬(北大・低温研)他1名: 地表付近の気温変化と気柱体積熱収支の季節特性

ポスター・セッションの講演題目はプログラム末尾にあります。

(は第2種講演を, は講演者を表す, [S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

A会場

メソ降水系Ⅱ(つづき)

座長:折笠成宏(気研・物理)

- A351 山田広幸・上田 博(北大・理)他4名:石狩湾周辺における雪雲の発達過程の観測(Ⅱ) — 下層風に注目したデュアルドップラー解析 —
- A352 乙津孝之・上田 博(北大・理)他4名:若狭湾周辺に冬季雷をもたらす雪雲の観測(その2) — 1995年1月6日11時から16時にかけての事例 —
- A353 紫村孝嗣・内藤玄一(防大・地球科学)他2名:レーダーエコーの時間変化に伴う落雷特性

雲物理

座長:折笠成宏(気研・物理)

- A354 折笠成宏・村上正隆(気研・物理)他3名ほか:強制吸引式雲粒子ゾンデによる巻雲観測の事例解析 — 1995年6月8日 つくば —
- A355 遊馬芳雄・菊地勝弘(北大・理)他2名:航空機による巻雲の雲物理学的観測
- A356 佐藤 昇(大阪府教育センター), 石坂 隆(名大・大気水圏研)他1名:対流圏における氷晶核・エアロゾルの航空機観測
- A357 中井安未・播磨屋敏生(北大・理)他2名:山岳性降雪の微物理過程(その1)
- A358 石坂雅昭(富山市科学文化センター):雲粒付雪片の空中および接地後の密度について
- A359 串山 傳・高橋 劭(九大・理):霰・霰衝突時の二次氷晶芽の発生 — その2 —
- A360 村上正隆・折笠成宏(気研・物理)他4名ほか:山岳性降雪雲内での2次氷晶発生過程
- A361 高橋 劭・田尻拓也(九大・理)他2名:鹿児島梅雨末期豪雨の降水機構 — ビデオゾンデ(PPIS)観測
- A362 佐々木 聰・播磨屋敏生(北大・理)他5名:立坑を用いた雲物理実験装置内で発生した雲の微物理過程(その4) — 釜石鉱山の装置での雲粒の生成と成長
- A363 播磨屋敏生・佐々木 聰(北大・理)他3名:エアロゾル数濃度の航空機観測
- A364 田中 猛・高橋 劭(九大・理):数値モデルにおける微物理過程パラメタリゼーションの吟味
- A365 杉山卓也(京大・超高層), 村岡良和(兵庫医大)他2名:レーダー観測による夜光雲の起源の検証
- A366 山本 實(鳥取地台), 谷 俊昭(米子測):鳥取県西部の霧について
- A367 水野 量(気研・物理), 山本 哲(気研・応用):国内飛行場における過冷却霧の統計分析
- A368 山神政司(広島航空測):広島空港における視程障害のメソ解析

B会場

台風

座長:釜淵弘隆(気研・台風)

- B351 藤井 健(京都産業大), 光田 寧(京大・防災研):近年に日本を襲った強い台風の気圧分布形について
- B352 Balotro R.(琉大・理), 石島 英(琉大・教養):台風によりひき起こされる沿岸潮位上昇に関する数値実験
- B353 上野 充(気研・台風):一般場面に鉛直シアがある場合の台風移動への非断熱加熱の影響 — 序報 —
- B354 那須野智江(東大・理):台風モデルのレインバンド中に見られるメソスケールの降水系の構造
- B355 島津好男(気研・台風):台風の停滞性レインバンド複合体(stationary band complex: SBC)の構造
- B356 岡村博文(気研・台風):台風9416号中心付近の降雨帯(その2)
- B357 森 一正・島津好男(気研・台風)他3名:台風域内のシビア現象を伴うメソ降水系群 — 微細構造 —
- B358 立平良三・鈴木智広(電通大)他2名:単一ドップラーレーダーによる台風周辺の上層風推定(モデル風系についてのシミュレーション)
- B359 釜淵弘隆(気研・台風):スペクトラム期間中の全球再解析(その3) — 高分解能解析の台風予報に対するインパクト —

気象教育

座長:釜淵弘隆(気研・台風)

- B360 石島 英(琉大・教養), ルイス・アルバリノ(琉大・理):検証・沖縄の干支ことわざ
- B361 山田幹夫(穴吹情報専門学校):ジェット気流を捉える 大気の大循環の中の日本の気象の指導
- B362 島貫 陸(東京学芸大), 富山敬子(CSK):日本における標準大気
- B363 山下 晃・香川千世(大阪教育大)他2名:理科室で行う雲を作る新しい実験[V]
- B364 高橋忠司・發地玲子(埼玉大・教育):学習教材を目的とした雪結晶の観察方法[S]
-
- C368 Y.-S. Chun(MRI, Korea), J. Sato(気研・応用)他5名: Numerical simulation of Yellow Sand Event in April 1993 using the International Meteorological Code
- C369 北田敏廣・五十川誠二(豊橋技術科学大)他1名:多成分系の半地球規模輸送反応モデルの検証 — 台風期の東アジア —

大会第3日〔10月18日〕

13:30~16:30

(____は第2種講演を, _____は講演者を表す。[S]=スライド使用予定, [V]=VTR使用予定)

C会場

エアロゾル・物質輸送

座長: 林 政彦 (名大・STE研)

- C351 永尾一平・松本 潔 (名大・大気水圏研) 他2名:
太平洋上でのCCNの起源に関する定点観測 (その2)
— CCN形成におけるDMSの寄与について —
- C352 松本 潔・田中 浩 (名大・大気水圏研) 他2名:
洋上大気エアロゾル中の硫黄及び水溶性有機炭素成分の性状とCCNへの寄与
- C353 濱島俊輔・銭 公望 (名大・大気水圏研) 他3名:
南極・昭和基地におけるエアロゾル粒子の季節変化
- C354 古賀聖治 (資源環境研), 永尾一平 (名大・大気水圏研) 他1名: MSA/nss-sulfateモル比の季節変化から推定されるDMSの酸化過程
- C355 森 育子・松永捷司 (名大・STE研) 他4名: チベットの高原で採集されたエアロゾル中の水溶性成分の粒径分布
- C356 深澤達矢・太田幸雄 (北大・工) 他2名: シベリア北極海沿岸ティクシにおけるガス・エアロゾル濃度観測
- C357 中根英昭・秋吉英治 (国立環境研) 他14名: 1995年冬の日本及び東シベリア域のオゾン及びエアロゾルの動態
- 座長: 永井智広 (気研・衛星)
- C358 酒井 哲・岩坂泰信 (名大・STE研) 他4名: 対流圏界面付近のエアロゾル季節変化: ラマンライダーによる観測
- C359 庵 成顔・岩坂泰信 (名大・STE研) 他3名: ライダーで観測された対流圏エアロゾルの輸送経路と特性(2)
- C360 林 政彦・渡辺征春 (名大・STE研) 他5名: ヤクーツク (62°N, 130°E) で観測された晩冬季成層圏エアロゾル層の構造
- C361 足立 宏・柴田 隆 (名大・STE研) 他8名: ライダー観測による極域成層圏雲の解析 (1994/1995年冬季: Ny-Alesund)
- C362 柴田 隆・足立 宏 (名大・STE研) 他9名: ライダーで観測されたNy-Alesund上空の極域成層圏雲の特徴
- C363 白石浩一・進 和美 (福岡大・理) 他7名: スバルバルにおける成層圏エアロゾルのライダー観測 — 極成層圏雲の偏光消滅, 波長依存性の関係
- C364 岩坂泰信・柴田 隆 (名大・STE研) 他10名: ノルウェーおよびアラスカにおける成層圏エアロゾルのライダー観測 — エアロゾルの混合比分布の差異 —
- C365 永井智広 (気研・衛星), 内野 修 (気象庁・オゾン層) 他4名: カナダ北極圏ユーレカで観測されたPSCについて
- C366 林田佐智子・西村亜紀 (奈良女子大・理) 他1名: 人工衛星データを用いた成層圏エアロゾルの光学的パラメータの解析(1)
- C367 眞木貴史・岩崎俊樹 (気象庁・数値予報): 特定エアロゾルの滞留時間の季節変化

D会場

大気境界層 (つづき)

座長: 小林文明 (防大・地球科学)

- D351 足立アホロ (気研・衛星): 景気が都市温度に及ぼす影響 — 名古屋市を例として —
- D352 高田 望・田中正昭 (京大・防災研): 京都盆地北東部における夏季午後の風系について (京都市環境データの解析とパイロットバルーン観測)
- D353 横田茂樹 (関西航空地台): 1994年4月12日の南よりの強風について
- D354 黒良龍太 (松江地台): 高気圧性フェーンに伴う局地的な昇温
- D355 清野直子 (気研・応用), 吉門 洋 (資源環境研) ほか: 関東で観測された局地前線の構造
- D356 大和田道雄 (愛知教育大): 伊勢湾岸地域における局地不連続線の出現頻度分布(1)
- D357 北田敏廣・岡村 聖 (豊橋技術科学大) 他1名: $k-\epsilon$ /メソスケール気象モデルによる濃尾平野の局地風解析 — 様々なスケールの地形効果 —
- D358 高木久之 (気象協会・東海), 北田敏廣 (豊橋技術科学大) 他1名: ドップラーソーダ観測により得られた海風侵入後の夜間における乱流運動エネルギーの2次元 $k-\epsilon$ 乱流モデルによる解析
- D359 森 博明・小川 弘 (テクノ中部) 他1名: 広域海陸風日の濃尾平野における気流の鉛直構造
- D360 大野裕一 (通信総研): CRLウィンドプロファイラで観測された海陸風循環
- D361 千葉 修 (高知大・理): ソーダー観測による海風フロントのLobe/Cleftの特性[S]
- D362 木俣昌久 (関西航空地台): 関空ドップラーレーダーで観測した低層ウィンドシャワー (1995年7月12日 事例解析)
- D363 森 修一 (北大・理): 航空機の離着陸障害となる地上風特性について

環境気象

座長: 吉川友章 (気研・応用)

- D364 岩嶋樹也 (名大・人間情報), 村松久史 (京大・防災研): 都市大気中のメタン濃度に関する解析(I) — 名古屋市における平均的状況 —
- D365 福岡義隆 (広島大・総合科学): 異常多雨夏(1993年)と異常少雨夏(1994年)の酸性雨について
- D366 岡崎克俊・片谷孝孝 (山梨大・工): 山梨県の光化学オキシダントの経年変化と気象要因・社会経済要因の関連の分析
- D367 吉川友章・栗田 進 (気研・応用) 他1名: 降雪条件での粒子状物質の沈着 (数値計算)
- D368 石坂 隆・渡辺幸一 (名大・大気水圏研) 他2名: 冬季日本海上酸性雪の形成における雲の役割に関する航空機観測

ポスター・セッション

B会場で概要紹介(1件1分以内)の後, B会場前ロビーで講演を行う。

ポスターの掲示はセッション当日限り。

講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。

大会第1日〔10月16日〕

15:45~17:00

大会第3日〔10月18日〕

11:15~12:30

座長: 菲澤 浩(気研・衛星)

- P101 長田和雄・林 政彦(名大・STE研)他4名: 北極・スピッツベルゲン島における冬季地上エアロゾル
- P102 渡辺征春・林 政彦(名大・STE研)他5名: 冬季北極域における成層圏エアロゾル: 粒径分布の特徴と輸送過程
- P103 永尾一平・松本 潔(名大・大気水圏研)他1名: 小笠原諸島母島における硫化ジメチル(DMS)の観測(その1)
- P104 木戸瑞佳・長田和雄(名大・STE研)他3名: 富山における冬季降水水中の化学成分
- P105 伊藤進一(東北区水産研), 竹内謙介(北大・低温研): 海洋熱塩大循環における数十年周期の自動振動
- P106 二階堂義信(気研・気候): 夏半球の亜熱帯高気圧研究(その7) — 全球解析データに見られる太平洋高気圧の春から夏への発達過程におけるレジーム遷移 —
- P107 松山 洋(都立大・理): 全球土壌水分量プロジェクト: validation partの現状
- P108 金村直俊(札幌総合情報センター), 篠田太郎(三菱総研)他1名: 海風の収束による局地的な降水現象
- P109 荒川拓也・山下 晃(大阪教育大): カナダ北極圏における雪結晶及び氷晶の観測(第2報)
- P110 Md. Nazrul Islam, H. Uyeda(北大・理)他1名: A Threshold Reflectivity of Keifu Maru Radar to Divide Convective/Stratiform Components and Radar Adjusted Satellite Rainfall Estimation during the TOGA-COARE IOP
- P111 花土 弘・熊谷 博(通信総研)他8名: 航空機搭載マルチパラメータ降雨レーダ(CAMPR)観測 — 1995年冬期観測概要 —
- P112 井上豊志郎(気研・台風), 操野年之(気象衛星センター): 極軌道衛星NOAAとGMS-5のSplit Windowによる雲型分類
- P113 藤田創造・山崎孝治(北大・地球環境)他1名: 敦煌における多雨時の総観気象的な特徴について
- P114 青木 孝(気象庁・長期予報): 台風による暴風時間数
- P115 瀬古 弘・栗原和夫(気研・予報): セミインブリックトスキームによる内部重力波の分散関係の変形
- P116 藤部文昭(気研・予報): 都市気象官署における年間最低・最高気温の経年変化
- P117 近藤裕昭・山本 晋(資源環境研)他1名: 温帯落葉樹林キャノピー内外の熱特性の観測
- P118 毛利英明(気研・応用), 窪谷浩人(お茶大・理)他2名: 直交waveletによる格子乱流の解析

座長: 赤枝健治(気研・台風)

- P301 樫 成顔・岩坂泰信(名大・STE研)他4名: 春期の対流圏エアロゾルの特性(1)
- P302 原 圭一郎・長田和雄(名大・STE研)他3名: 夏季のパローにおけるエアロゾルと酸性ガス成分
- P303 林 政彦・奥原靖彦(名大・STE研)他7名: 中国大陸における気球によるエアロゾルの直接採集
- P304 関野裕功・奈良 税(気大)他7名: 富士山頂の霧水の化学成分濃度
- P305 山本 哲(気研・応用): 航空実況気象通報を用いた大気境界層における雲の出現特性の統計分析
- P306 鬼頭昭雄・小出 寛(気研・気候)他2名: 結合モデルに現れた成層圏・対流圏・海面水温変動の関連性
- P307 菅田誠治(国立環境研): 大気大循環におけるラグランジュの粒子運動(その2)
- P308 森 一正(気研・台風), 石垣修二(気象庁・海上気象)他3名: 発達初期の台風YANCY(T9313)を構成する降水系の構造と時間変化
- P309 水野 量・村上正隆(気研・物理)他5名ほか: 冬期三国山脈周辺で雲水量が卓越する気象条件
- P310 井上豊志郎・森 一正(気研・台風): 啓風丸レーダーとMITレーダーの比較
- P311 高橋法子(関西航空地台): 関西国際空港のドップラーレーダーシステム
- P312 松島 大・近藤純正(東北大・理): 放射温度を植被面温度として使う場合どう測ればいいのか?
- P313 真野裕三(気研・気候), 井上豊志郎(気研・台風): AVHRR/NOAAによる巻雲のリモートセンシング
- P314 田中 博・木村和央(筑波大・地球科学): 順圧大気モデルを用いた大気其自然変動のスペクトル解析(2) — 年周期がもたらす長周期変動の研究 —
- P315 吉崎正憲(気研・予報): 線型化された浅水方程式で2次元ガウス分布した圧力あるいは風の初期擾乱で励起される地衡風成分と非地衡風成分のエネルギー: 中緯度f面と赤道ベータ面との比較
- P316 山田哲司(YSA Corp.): 緊急事故対策用3次元予報モデルの開発
- P317 福岡義隆・金川裕充(広島大・総合科学)他1名: 溜池と雨乞い地名の分布に関する水文気候学的研究
- P318 桑形恒男(東北農試), 木村富士男(筑波大・地球科学): 深い谷地形における日中の大気境界層の構造と熱輸送